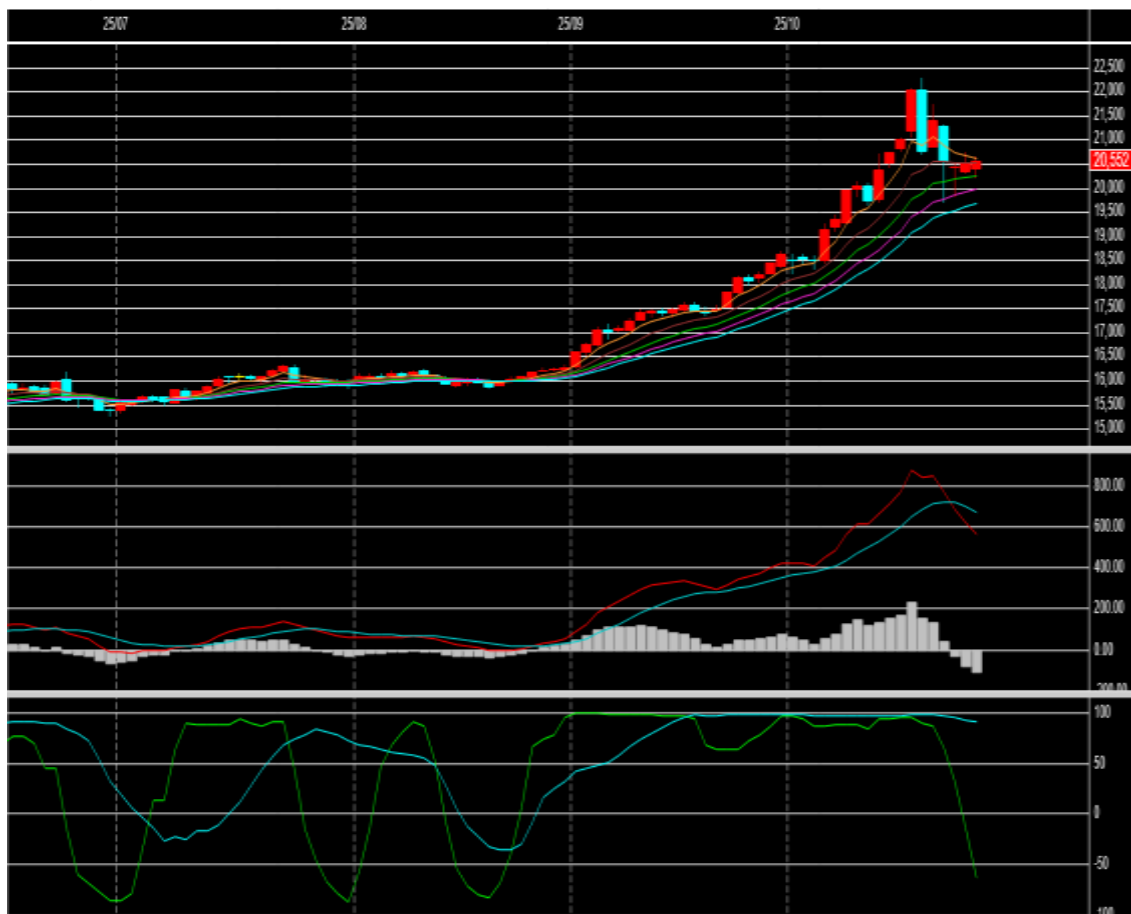


<金標準、パウエル FRB 議長の発言如何で再度 20000 円・・・>



(出所：オアシス)

金標準先物は、9 月 1 日の 16293 円から 33 日間強気基調を続け、22288 円まで 5995 円の上昇を行ったが、ビットコインの反落もあり、買われ過ぎた価格の修正が行われている。特にトランプ大統領は中国に対して、レアアースの輸出規制強化を理由に 11 月 1 日から 100%の関税を引き上げ 130%にすると発表し、10 月 31 日の APEC での米中首脳会談も不透明になるも、ホワイトハウスは 10 月 31 日に米中首脳会談は行われると発表し、貿易戦争は楽観的な打算が働くなどリスクは後退している。ただ週末発表された消費者物価指数（CPI）では、前年比 0.3%、コア前年比でも 3.0%となるなど、市場の思惑以上に悪化しなかった。そのため 10 月 29 日の FOMC で利下げのハードルが下がり、FRB にとっては歓迎すべき内容となっている。ただ利下げは確実視されているもパウエル FRB 議長は、政府機関の閉鎖を理由に慎重なニュアンスのコメントになると見られ、FOMC 以降の値動きでは再度 20000 円を試す値動きには注意が必要に思える。

<テクニカル>

金標準先物の日足の MACD では、MACD が下げながら、シグナルも下げている。RCI は短期は下落し、長期は切り下げている。特に日足が指数平滑移動平均線のレンジ内に移行し、迷い相場を示している事から 20000 円に向けた値動きには注意が必要に思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取 1,930,000 円(2025 年 10 月 27 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 102,960 円(2025 年 10 月 27 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>